



2024年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年2月6日

上場会社名 グンゼ株式会社

上場取引所 東

コード番号 3002 URL <https://www.gunze.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐口 敏康

問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 中嶋 順子

TEL 06-6348-1314

四半期報告書提出予定日 2024年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	101,450	2.3	6,168	28.8	6,085	22.3	3,985	2.9
2023年3月期第3四半期	103,843	12.0	4,787	12.1	4,976	16.1	3,871	41.3

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 6,959百万円 (1.9%) 2023年3月期第3四半期 7,095百万円 (15.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	233.96	233.43
2023年3月期第3四半期	224.23	223.69

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	166,427	121,344	71.7	7,061.80
2023年3月期	165,927	117,691	69.8	6,789.78

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 119,329百万円 2023年3月期 115,757百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期				147.00	147.00
2024年3月期					
2024年3月期(予想)				150.00	150.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	140,000	2.9	7,500	29.0	7,500	24.6	4,800	6.6	282.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	17,293,516 株	2023年3月期	17,293,516 株
期末自己株式数	2024年3月期3Q	395,664 株	2023年3月期	244,692 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	17,033,272 株	2023年3月期3Q	17,266,660 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示)	8
(四半期連結損益計算書関係)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(当四半期の経営成績)

当第3四半期連結累計期間(2023年4月1日～2023年12月31日)における日本経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う行動制限の緩和等により、社会経済活動の正常化が進み、景気は緩やかな回復基調となりました。一方で、地政学的問題を背景とした原材料価格の高騰に伴う物価上昇や、国内外の金融政策の違いに伴う円安影響および海外経済の減速懸念など、先行き不透明な状況が継続しております。

このような事業環境のもと、当社グループでは、中期経営計画「VISION 2030 stage1」の2年目にあたり、引き続き「新たな価値の創出」「資本コスト重視の経営」「企業体質の進化」「環境に配慮した経営」の4つの基本戦略への取り組みを進めました。

各事業の概況としては、機能ソリューション事業は、物価上昇によるフィルム需要の減速やOA市場でのプリンター市況低迷の影響を受けました。メディカル事業は、医療用レーザーの販売が苦戦しましたが、生体吸収性の新製品販売および中国における拡販が順調に進みました。アパレル事業は、商品の高付加価値化を含めた価格改定および事業構造改革が進み収益性が改善しました。また、ライフクリエイティブ事業は、人流の回復により順調に推移しました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は101,450百万円(前年同期比2.3%減)、営業利益は6,168百万円(前年同期比28.8%増)、経常利益は6,085百万円(前年同期比22.3%増)となりました。また、電子部品事業における連結子会社の株式譲渡に伴い、事業構造改善費用1,677百万円(特別損失)を計上しましたが、子会社への投資に係る将来減算一時差異に対して法人税等調整額(益)1,372百万円を計上したこと等から、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,985百万円(前年同期比2.9%増)となりました。

(セグメント別の概況)

第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同期比較につきましては、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

<機能ソリューション事業>

プラスチックフィルム分野は、米国の包装用フィルムが堅調に推移しましたが、国内・アジアでは需要停滞の影響を受けました。エンジニアリングプラスチック分野は、OA機器向けが停滞しましたが、半導体及び一般産業向けが堅調に推移しました。電子部品分野は、中国経済の停滞およびPC市場低迷の影響を受けました。

以上の結果、機能ソリューション事業の売上高は37,348百万円(前年同期比2.3%減)、営業利益は4,506百万円(前年同期比12.3%減)となりました。

<メディカル事業>

メディカル事業は、コロナ後の美容医療機関の開院減少等により、医療用レーザーの受注が減少しましたが、主力の国内医療用途市場の回復に伴い癒着防止材等の新製品の市場浸透が進み、また、中国では生体吸収性製品が伸長しました。

以上の結果、メディカル事業の売上高は8,768百万円(前年同期比7.1%増)、営業利益は1,627百万円(前年同期比4.9%増)となりました。

<アパレル事業>

アパレル事業全体では、記録的な残暑や暖冬影響により秋冬商品が苦戦しましたが、差異化訴求した年間商品が好調に推移しました。また強化を進めるEC・直営店ルートが引き続き伸長しており、今後もDtoCシフトによる成長戦略に取り組みます。インナーウェア分野では、顧客ニーズに対応した付加価値商品が好調に推移しました。レッグウェア分野は、収益性の改善に向けた構造改革を継続的に進めております。

以上の結果、アパレル事業の売上高は46,444百万円（前年同期比1.2%減）、営業利益は2,017百万円（前年同期比454.8%増）となりました。

<ライフクリエイト事業>

不動産関連分野は、前期の遊休地再開発プロジェクト売上影響により減収となりました。人流の回復により、ショッピングセンター事業とスポーツクラブ分野は、ともに回復傾向にあります。

以上の結果、ライフクリエイト事業の売上高は9,454百万円（前年同期比13.8%減）、営業利益は552百万円（前年同期比33.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、166,427百万円となり、前連結会計年度末に比べ500百万円増加しました。主な増加要因は、受取手形、売掛金及び契約資産の増加1,871百万円、商品及び製品の増加1,407百万円、投資その他の資産その他の増加1,752百万円（繰延税金資産等）であり、主な減少要因は、政策保有株式売却等による投資有価証券の減少2,199百万円、流動資産その他の減少2,165百万円（未収入金等）であります。

負債は、45,082百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,152百万円減少しました。主な増加要因は、事業構造改善引当金の増加1,602百万円、未払法人税等の増加1,112百万円であり、主な減少要因は、コマーシャル・ペーパーを含む長短借入金の減少2,774百万円、支払手形及び買掛金の減少1,642百万円であります。

純資産は、121,344百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,652百万円増加しました。主な増加要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による増加3,985百万円、為替換算調整勘定の増加2,167百万円であり、主な減少要因は、配当による減少2,505百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の業績が概ね想定範囲内で推移していることから、2023年5月12日に公表した通期業績予想からの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,547	11,243
受取手形、売掛金及び契約資産	27,129	29,001
商品及び製品	24,114	25,522
仕掛品	7,128	7,594
原材料及び貯蔵品	7,054	6,442
その他	6,622	4,457
貸倒引当金	△16	△18
流動資産合計	83,580	84,242
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	36,657	36,069
機械装置及び運搬具（純額）	10,398	10,515
土地	10,446	10,502
その他（純額）	5,614	6,041
有形固定資産合計	63,117	63,130
無形固定資産	1,446	1,724
投資その他の資産		
投資有価証券	11,698	9,498
その他	6,151	7,904
貸倒引当金	△67	△72
投資その他の資産合計	17,782	17,330
固定資産合計	82,346	82,185
資産合計	165,927	166,427

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,010	8,368
短期借入金	6,077	322
コマーシャル・ペーパー	-	3,300
1年内返済予定の長期借入金	438	485
未払法人税等	263	1,376
賞与引当金	1,353	444
事業構造改善引当金	-	1,602
その他	11,907	11,511
流動負債合計	30,052	27,412
固定負債		
長期借入金	8,638	8,272
退職給付に係る負債	4,494	4,592
長期預り敷金保証金	4,220	4,092
その他	830	714
固定負債合計	18,183	17,670
負債合計	48,235	45,082
純資産の部		
株主資本		
資本金	26,071	26,071
資本剰余金	6,566	6,568
利益剰余金	78,972	80,451
自己株式	△1,044	△1,795
株主資本合計	110,566	111,296
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,464	2,915
繰延ヘッジ損益	△144	43
土地再評価差額金	△13	△13
為替換算調整勘定	2,941	5,108
退職給付に係る調整累計額	△56	△21
その他の包括利益累計額合計	5,191	8,033
新株予約権	124	124
非支配株主持分	1,808	1,890
純資産合計	117,691	121,344
負債純資産合計	165,927	166,427

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)
売上高	103,843	101,450
売上原価	72,936	69,143
売上総利益	30,907	32,306
販売費及び一般管理費	26,119	26,138
営業利益	4,787	6,168
営業外収益		
受取利息	36	62
受取配当金	404	291
固定資産賃貸料	292	297
為替差益	2	-
その他	195	106
営業外収益合計	930	757
営業外費用		
支払利息	152	192
固定資産賃貸費用	283	288
為替差損	-	60
その他	306	298
営業外費用合計	741	840
経常利益	4,976	6,085
特別利益		
固定資産売却益	351	7
投資有価証券売却益	419	723
その他	14	-
特別利益合計	785	731
特別損失		
固定資産除売却損	224	216
投資有価証券売却損	7	-
出資金売却損	40	-
事業構造改善費用	43	※1 1,677
取水量過少申告解決金	-	※2 534
新型コロナウイルス感染症による損失	114	-
その他	-	22
特別損失合計	429	2,451
税金等調整前四半期純利益	5,332	4,366
法人税等	1,439	347
四半期純利益	3,893	4,018
非支配株主に帰属する四半期純利益	21	33
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,871	3,985

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	3,893	4,018
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	871	450
繰延ヘッジ損益	△196	188
為替換算調整勘定	2,519	2,266
退職給付に係る調整額	7	35
その他の包括利益合計	3,202	2,940
四半期包括利益	7,095	6,959
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,914	6,826
非支配株主に係る四半期包括利益	181	132

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

※1 事業構造改善費用

電子部品事業における連結子会社の株式譲渡等事業構造改革に伴う損失であります。

※2 取水量過少申告解決金

連結子会社の温浴施設において取水量過少申告が判明したことによる下水道使用料未納額等の支払額であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	機能ソリュー ション 事業	メディカル 事業	アパレル 事業	ライフ クリエイト 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	37,846	8,185	46,889	10,922	103,843	—	103,843
セグメント間の内部 売上高又は振替高	392	2	141	49	586	△586	—
計	38,239	8,187	47,030	10,972	104,430	△586	103,843
セグメント利益	5,138	1,551	363	415	7,470	△2,682	4,787

(注) 1 セグメント利益の調整額△2,682百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、当該費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	機能ソリュー ション 事業	メディカル 事業	アパレル 事業	ライフ クリエイト 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	36,955	8,766	46,314	9,413	101,450	—	101,450
セグメント間の内部 売上高又は振替高	393	1	130	40	566	△566	—
計	37,348	8,768	46,444	9,454	102,016	△566	101,450
セグメント利益	4,506	1,627	2,017	552	8,704	△2,536	6,168

(注) 1 セグメント利益の調整額△2,536百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、当該費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、現在推進中の中期経営計画「VISION 2030 stage1」における成長牽引役としてのメディカル事業の位置づけを明確にするため、これまで機能ソリューションセグメントに含まれていたメディカル事業を「メディカル」セグメントとして新たに区分しております。この結果、「機能ソリューション」、「メディカル」、「アパレル」、「ライフクリエイト」を報告セグメントとしております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成してあります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。